

令和7年度
兵庫県中播磨県民センター重要施策

令和7年4月
兵庫県中播磨県民センター

目 次

中播磨県民センター 重要施策体系.....	6
-----------------------	---

I 多様な人が行き交う「交流」中播磨.....	8
--------------------------------	----------

1 大阪・関西万博等を契機とした交流の拡大.....	8
----------------------------	---

(1) 姫路城+（プラス）1の交流促進（銀の馬車道等）.....	8
(2) フィールドパビリオンの展開の推進（中播磨地域づくり活動応援事業）.....	9
(3) 海の玄関口「姫路港」を起点とした瀬戸内周遊クルーズ.....	9
(4) 「播磨のさかな」の魅力発信.....	10
(5) 中はりま食文化の発信.....	10

2 播磨臨海地域の中心を担う姫路港の活性化.....	10
----------------------------	----

(1) カーボンニュートラルポートの形成.....	10
(2) 国際物流ターミナルの整備.....	10
(3) 背後圏企業へのポートセールス活動の展開.....	11
(4) 姫路港旅客ターミナルエリアリニューアル.....	11
(5) 海外クルーズ見本市への出展.....	11
(6) クルーズ客船誘致活動の強化.....	11
(7) 姫路港ふれあいフェスティバル.....	11
(8) 海の玄関口「姫路港」を起点とした瀬戸内周遊クルーズ（再掲）.....	11

3 交流を支える交通基盤の整備.....	11
----------------------	----

(1) 播磨の中心市街地（姫路市）の骨格道路網形成.....	11
(2) 日常生活や地域を支える道路整備.....	13
(3) 「（仮称）道の駅姫路」の整備.....	14
(4) 播磨臨海地域道路の整備促進.....	14
(5) J R姫新線・播但線鉄道交通活性化推進事業.....	14

Ⅱ 新たな力が生まれ続ける「活力」中播磨..... 15

- 1 ものづくり力の強化と新たな挑戦への支援..... 15
 - (1) 高校生と企業の新ビジネスにつながるアイデアカフェ..... 15
 - (2) ものづくりを支える人材確保支援..... 15
 - (3) 産学官連携による「中はりま産業力」強化..... 15
 - (4) カーボンニュートラルポートの形成（再掲）..... 16
- 2 持続可能な農林水産業の推進..... 16
 - (1) 中はりま農業パワーアップ作戦..... 16
 - (2) 次世代につなげる播磨の水産業..... 17
 - (3) 農業生産基盤の整備..... 17
 - (4) 水産資源を守り育てる増殖場の整備..... 18
 - (5) 中播磨地域「農産物をまもり・ひきつぐプロジェクト」..... 18
- 3 公民連携で取り組む地域の活性化..... 19
 - (1) 地域に根ざしたユニバーサル活動応援団体との公民連携モデル事業..... 19
 - (2) 新技術等の実用化に向けた中はりま公民連携事業..... 19

Ⅲ ステキなご近所さんで支え合う「つながり」中播磨..... 20

- 1 人と人がつながり支え合う地域づくりの推進..... 20
 - (1) 中播磨地域づくり活動応援事業..... 20
 - (2) 農福マッチングプロジェクト..... 20
 - (3) 中播磨フードドライブの実施..... 21
 - (4) 地域づくり研修会の開催..... 21
 - (5) 地域に根ざしたユニバーサル活動応援団体との公民連携モデル事業（再掲） .. 21
 - (6) 管内プロスポーツクラブ等との連携・協力の推進..... 21
- 2 青少年等の健全育成活動の推進..... 21
 - (1) 親子、世代間ふれあい事業の実施..... 21
 - (2) スポーツ活動を通じたこどもの健全育成の推進..... 22

(3) 青少年健全育成・非行防止啓発事業.....	22
3 健康で安心できる暮らしづくりの推進.....	22
(1) 小児救急医療・適切な受診行動の促進.....	22
(2) 地域包括ケアシステムの構築支援.....	22
(3) 地域を支える看護人材の確保.....	22
<u>IV 次代に受け継ぐ「ふるさと」中播磨.....</u>	23
1 安全安心な暮らしの推進.....	23
(1) 災害に強い社会基盤整備の推進.....	23
(2) 老朽化対策の推進.....	25
(3) 防災リーダーフォローアップ講座の開催	25
(4) 「ストップ・ザ・交通事故！県民運動」啓発活動強化事業.....	25
(5) 次世代（若者）の消費生活力向上支援事業.....	26
2 シビックプライドの醸成.....	26
(1) 小学生への社会基盤整備PR事業.....	26
(2) 中播磨地域ビジョンの推進.....	26
(3) 未来へつなぐ中はりまの農業水利の歴史事業.....	26
(4) 伝統文化を通じた青少年の文化力アップ.....	27
3 次代へつなぐ豊かな自然の維持・保全とゼロカーボン社会の実現.....	27
(1) 県市連携による家島の野生動物被害対策.....	27
(2) 鳥獣被害対策の担い手の育成.....	27
(3) 野生動物の被害対策の推進.....	27
(4) 持続可能な森林経営に向けた森づくり.....	28
(5) 環境学習の推進.....	28
(6) カーボンニュートラルポートの形成（再掲）	28
(7) 中播磨フードドライブの実施（再掲）	28

ひと 多様な地域に、個性が輝く中播磨

I 多様な人が行き交う

「交流」中播磨

1 大阪・関西万博等を契機とした交流の拡大

- (1) 姫路城+(プラス)1の交流促進（銀の馬車道等）【拡充】
- (2) フィールドバピリオンの展開の推進（中播磨地域づくり活動応援事業）
- (3) 海の玄関口「姫路港」を起点とした瀬戸内周遊クルーズ
- (4) 「播磨のさかな」の魅力発信
- (5) 中はりま食文化の発信

2 播磨臨海地域の中心を担う姫路港の活性化

- (1) カーボンニュートラルポートの形成
- (2) 国際物流ターミナルの整備
- (3) 背後圏企業へのポートセールス活動の展開
- (4) 姫路港旅客ターミナルエリアリニューアル
- (5) 海外クルーズ見本市への出展
- (6) クルーズ客船誘致活動の強化
- (7) 姫路港ふれあいフェスティバル
- (8) 海の玄関口「姫路港」を起点とした瀬戸内周遊クルーズ（再掲）

3 交流を支える交通基盤の整備

- (1) 播磨の中心市街地（姫路市）の骨格道路網形成
- (2) 日常生活や地域を支える道路整備
- (3) 「(仮称)道の駅姫路」の整備
- (4) 播磨臨海地域道路の整備促進
- (5) JR姫新線・播但線鉄道交通活性化推進事業

II 新たな力が生まれ続ける

「活力」中播磨

1 ものづくり力の強化と新たな挑戦への支援

- (1) 高校生と企業の新ビジネスにつながるアイデアカフェ
- (2) ものづくりを支える人材確保支援【拡充】
- (3) 産学官連携による「中はりま産業力」強化
- (4) カーボンニュートラルポートの形成（再掲）

2 持続可能な農林水産業の推進

- (1) 中はりま農業パワーアップ作戦【拡充】
- (2) 次世代につなげる播磨の水産業
- (3) 農業生産基盤の整備
- (4) 水産資源を守り育てる増殖場の整備
- (5) 中播磨地域「農産物をまもり・ひきつぐプロジェクト」【新規】

3 公民連携で取り組む地域の活性化

- (1) 地域に根ざしたユニバーサル活動応援団体との公民連携モデル事業
- (2) 新技術等の実用化に向けた中はりま公民連携事業

Ⅲ ステキなご近所さんで支え合う

「つながり」中播磨

1 人と人がつながり支え合う地域づくりの推進

- (1) 中播磨地域づくり活動応援事業
- (2) 農福マッチングプロジェクト【新規】
- (3) 中播磨フードドライブの実施
- (4) 地域づくり研修会の開催
- (5) 地域に根ざしたユニバーサル活動応援団体との公民連携モデル事業(再掲)
- (6) 管内プロスポーツクラブ等との連携・協力の推進

2 青少年等の健全育成活動の推進

- (1) 親子、世代間ふれあい事業の実施
- (2) スポーツ活動を通じたこどもの健全育成の推進
- (3) 青少年健全育成・非行防止啓発事業

3 健康で安心できる暮らしづくりの推進

- (1) 小児救急医療・適切な受診行動の促進
- (2) 地域包括ケアシステムの構築支援
- (3) 地域を支える看護人材の確保

Ⅳ 次代に受け継ぐ

「ふるさと」中播磨

1 安全安心な暮らしの推進

- (1) 災害に強い社会基盤整備の推進
- (2) 高齢化対策の推進
- (3) 防災リーダーフォローアップ講座の開催
- (4) 「ストップ・ザ・交通事故！県民運動」啓発活動強化事業
- (5) 次世代（若者）の消費生活力向上支援事業

2 シビックプライドの醸成

- (1) 小学生への社会基盤整備PR事業
- (2) 中播磨地域ビジョンの推進
- (3) 未来へつなぐ中はりまの農業水利の歴史事業【拡充】
- (4) 伝統文化を通じた青少年の文化力アップ

3 次代へつなぐ豊かな自然の維持・保全とゼロカーボン社会の実現

- (1) 県市連携による家島の野生動物被害対策
- (2) 鳥獣被害対策の担い手の育成
- (3) 野生動物の被害対策の推進
- (4) 持続可能な森林経営に向けた森づくり
- (5) 環境学習の推進
- (6) カーボンニュートラルポートの形成（再掲）
- (7) 中播磨フードドライブの実施（再掲）

I 多様な人が行き交う「交流」中播磨

1 大阪・関西万博等を契機とした交流の拡大

大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭の開催を契機に、中播磨地域への交流人口の拡大を図るため、地域資源を磨き上げる「ひょうごフィールドパビリオン」の展開支援や、情報発信、機運醸成のための取組を推進する。

(1) 【拡充】姫路城＋(プラス)1の交流促進（銀の馬車道等）

15,400 千円（地域躍動）

姫路城＋1の周遊観光を目指し、中播磨のグルメや歴史遺産といった様々な観光資源をPRする。

① （新規）メディア（ラジオ、SNS等）を活用したサイクリングPR

ひょうごサイクリングモデルルート「銀の馬車道・鉱石の道周遊ルート」の活用を促進し、姫路から北の日本遺産の沿線地域へサイクリングによる誘客を促す。

ラジオやSNS等を活用し、日本遺産沿線地域のサイクリングをPRする。

② （新規）「中播磨ウォーキング&サイクリングマップ（仮）」の作成

メディアを活用したサイクリング事業と連動して、グルメや歴史遺産といった様々な観光資源を掲載した「中播磨ウォーキング&サイクリングマップ」を作成し、サイクリングや街歩きを通じた誘客を促す。マップは日本語版と、宿泊後に目的地を決めることの多い欧米からの旅行者を対象に英語版を作成する。



【サイクリング参加者の様子】

③ （拡充）見て・触れて楽しむ「銀の馬車道」

ア 現存する銀の馬車道関連の史跡が少ないことから各種観光イベントにおいて、銀の馬車道を中心とした中播磨の観光をPRする際に、銀の馬車道公式キャラクター「ハヤブ」に扮したポニーを登場させ注目を集める。

また、「ハヤブ」の情報をSNSで発信することによりフォロワー数のさらなる増加を図る。

イ 銀の馬車道沿線に、銀の馬車道をイメージしたアート作品を設置し、地域内外へ発信する。（銀の馬車道ネットワーク協議会総会承認後実施）

④ 銀の馬車道ブランドの推進

銀鉱石をイメージした白いカボチャなど沿線でしか味わえない商品のブランド化を進め活用することにより、地域イメージの向上と来訪者の誘致を推進する。（銀の馬車道ネットワーク協議会総会承認後実施）



【銀の馬車道 アートワーク】

⑤ 「銀の馬車道」魅力発信

フランスとのゆかりを地域の人に認識してもらう“花つなぎ事業”の支援や、沿線の豊かな自然や文化、歴史等をテーマにした川柳コンテストなどを実施することにより、地域の銀の馬車道愛を醸成し、交流事業の礎を強化する。(銀の馬車道ネットワーク協議会総会承認後実施)

⑥ 銀の馬車道ネットワーク協議会と日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」推進協議会の運営
2つの協議会を中心として中播磨地域の観光施策を活性化するために、両協議会を支援する。

(2) フィールドパビリオンの展開の推進(中播磨地域づくり活動応援事業)

9,200千円(地域躍動)

大阪・関西万博の開催に合わせて、「ひょうごフィールドパビリオン」の展開を推進するため、地域で展開するSDGsの取組や大阪・関西万博に関連するイベント等を「中播磨地域づくり活動応援事業」の枠組みで支援する。

(3) 海の玄関口「姫路港」を起点とした瀬戸内周遊クルーズ 4,400千円(地域躍動)

大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭の開催時に兵庫・岡山・香川にある様々な観光資源(姫路城、直島等)をリンクさせ、訪日外国人を含む観光客の誘客、周遊を促進させるとともに、姫路港の利用促進を図る。観光客の誘客に繋がる効果的なツアーのコース及びSNSを利用した広報計画をコンペ方式により決定し実施する。

実施時期：万博・瀬戸芸開催期間中に3回実施予定

定員：各回60名程度(高速船をチャーターして実施)

【クルーズルート例】



(4) 「播磨のさかな」の魅力発信 4,000千円（地域躍動）

ひょうごフィールドパビリオンとしての取組を核として、都市住民等を対象とした漁業船見学ツアー、漁村地域における食事体験や島内散策、漁業者との交流等「ブルーツーリズム」の取組を支援し、資源管理型漁業の推進や海洋保全活動等、持続可能な漁業が営まれていることを広くPRするとともに、「播磨のさかな」の魅力を紹介・PRする取組や水産加工品の開発を支援し、漁村来訪者と地域水産物のファン及びリピーターを確保する。



【家島での漁業見学ツアー】

(5) 中はりま食文化の発信 4,300千円（地域躍動）

酒類の地理的表示（GI）の指定を受けた「はりま」の酒をはじめ、姫路おでんや菓子、海の幸など姫路・中播磨の食文化の魅力を発信する。

① 「GI『はりま』等の酒」海外プロモーション

地域資源である日本酒の海外販路開拓・拡大及び海外の嗜好に合わせた味づくりに取り組むため、海外において、GIはりまの酒の試飲・商談、セミナー等のプロモーションを実施する。



② 姫路食博2025の開催支援

【ディジョン国際ガストロノミー展】

中播磨を中心とした兵庫の食の魅力を全国に発信することで、交流人口の拡大等を促進し、地域経済の活性化を図るため、「姫路食博2025」の開催を支援する。

2 播磨臨海地域の中心を担う姫路港の活性化

姫路港が中心を担う播磨臨海地域においてカーボンニュートラルに向けた拠点とするための取組を推進する。また、新たな物流ターミナルの整備や旅客ターミナルエリアのリニューアルの推進により、姫路港の活性化を図る。

(1) カーボンニュートラルポートの形成

姫路港を中心とする播磨臨海地域は、ものづくり・エネルギー産業が集積し、エネルギー使用量等が全国屈指の規模であり、脱炭素化の取組みによる効果が高いエリアであることから、温室効果ガスの排出削減を進めるため、学識者、企業、行政等で構成する『播磨臨海地域カーボンニュートラルポート推進協議会』を設置した。

令和6年12月に策定した「姫路港・東播磨港港湾脱炭素化推進計画」に基づき、2050年にCO2排出量ゼロ（カーボンニュートラル）を目指す。

(2) 国際物流ターミナルの整備

背後地域に進出する企業や生産機能の増強を行う企業などの貨物需要の増大や船舶の大型化に対応するとともに、円滑な陸上輸送を確保することを目的として、岸壁や臨港道路の整備等、広畑地区で国際物流ターミナルの整備を推進する。

(3) 背後圏企業へのポートセールス活動の展開

飾磨地区の荷役機械（クレーン）更新を進めるとともに、姫路港背後圏の荷主企業等に対するポートセールス活動を行い、姫路港の利用を積極的に働きかける。

(4) 姫路港旅客ターミナルエリアリニューアル

旅客船利用者の利便性・快適性の向上を図るため、旅客ターミナル機能の集約や貨物と旅客の効率的な配置など再編整備事業を推進する。

(5) 海外クルーズ見本市への出展 1,500千円（地域躍動）

海外からのクルーズ客船の姫路港寄港増による地域活性化を目指し、アメリカ合衆国マイアミで開催されるクルーズ見本市「シートレード・クルーズ・グローバル2025」に出展する。更に、2025年度は大阪・関西万博により訪日外国人が増加することから引き続き、海外船社本社へのポートセールスにより姫路港への寄港増を図る。

(6) クルーズ客船誘致活動の強化 1,100千円（地域躍動）

クルーズ客船の入港時には、乗客・乗員に印象に残るようなおもてなしを提供して今後の再入港に繋がるよう、効果的な歓迎行事を実施する。また、姫路港を訪れる旅行者向けに、フィールドパビリオンなど上質で特別感のある寄港地観光コンテンツを開発する。



【クルーズ客船「ル・ソレアル」 姫路港寄港の様子】

(7) 姫路港ふれあいフェスティバル 4,000千円（地域躍動）

姫路港の重要性や海の魅力を発信し身近な港としてPRするとともに、地域で活動を行っている様々な団体に活動発表の場を提供するため、姫路港飾磨津臨港公園及び周辺にて「姫路港ふれあいフェスティバル」を開催する。

(8) 海の玄関口「姫路港」を起点とした瀬戸内周遊クルーズ（p. 9再掲）

3 交流を支える交通基盤の整備

暮らしや産業、観光など中播磨地域の元気を支える重要な交流基盤として、利便性・安全性を高める道路の整備や、鉄道の利用促進等を進めることで、さらなる交流を促進する。

(1) 播磨の中心市街地（姫路市）の骨格道路網形成

姫路市流出入交通の集約・分散化を図るための骨格となる放射環状道路のうち、国道372号などの放射道路や県道広畑青山線のバイパスなどの環状道路の整備を推進する。

① 放射道路

路 線 名	延 長	種 別	位 置
(国) 372号〔城北線〕(姫路市飾東町八重畑～山崎)	1.65km	拡幅 2008(H20)～25(R7)	図-①
(都) 国道線〔姫路東工区〕〔(国) 2号〕 (姫路市東郷町～神屋町)	0.96km	拡幅 2014(H26)～28(R10)	図-②
(国) 312号〔砥堀〕〔大日線〕(姫路市砥堀)	0.32km	拡幅 2016(H28)～28(R10)	図-③

② 環状道路

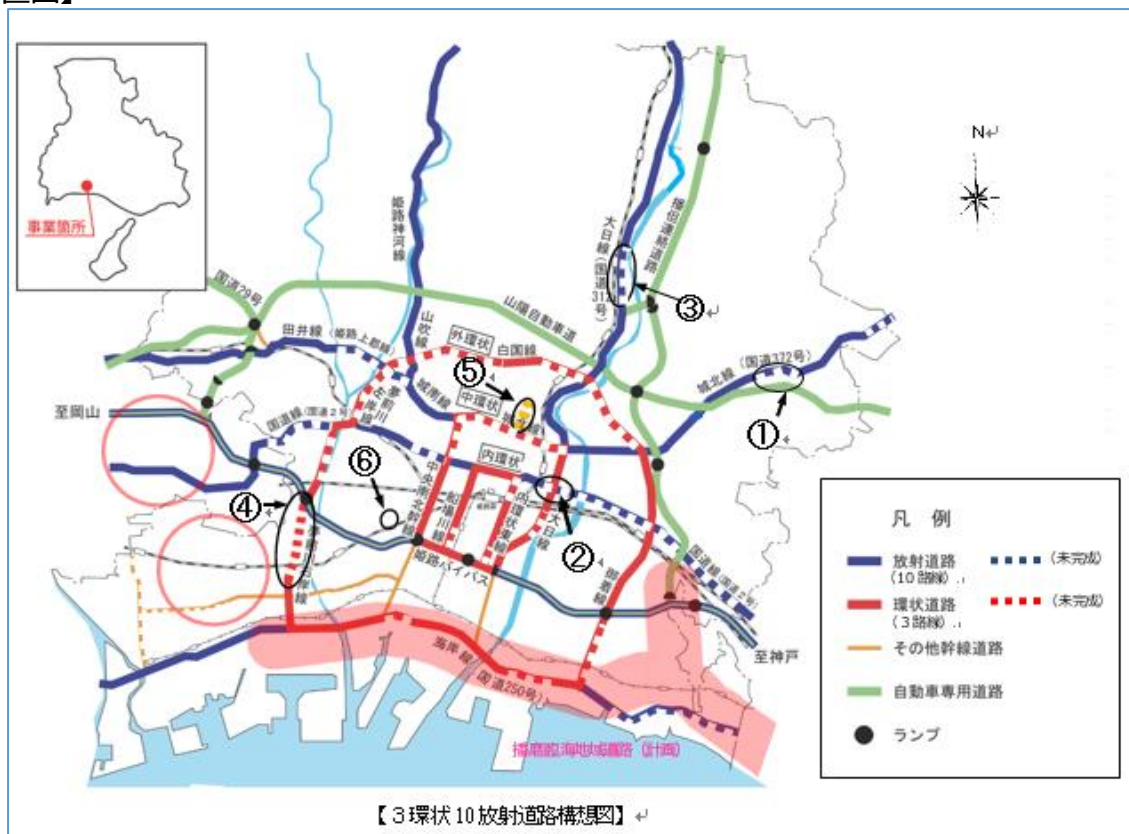
《外環状道路》

路 線 名	延 長	種 別	位 置
(一) 広畑青山線〔夢前川右岸線〕 (姫路市広畑区才～西蒲田)	2.3km	バイパス 2001(H13)～25(R7)	図-④

《その他都市軸を形成する道路》

路 線 名	延 長	種 別	位 置
(都) 城東線〔河間工区〕(姫路市河間町)	0.47km	拡幅 2015(H27)～29(R11)	図-⑤
(都) 荒川線〔岡田南工区〕(姫路市岡田)	0.28km	拡幅 2025(R7)～31(R13)	図-⑥

【位置図】



(2) 日常生活や地域を支える道路整備

① 渋滞交差点の解消・緩和

交差点改良（右折レーン設置）等を行い、計画的かつ重点的に渋滞交差点の対策を進める。

《主な事業箇所》

路 線 名	交差点名	渋滞内容	種 別
(主) 太子御津線	J R 網干駅前	太子御津線北行き L=250m	バイパス 2011(H23)～25(R 7)
(一) 大江島太子線	下太田	大江島太子線北行き L=350m	右折レーン設置 2019(H31)～26(R 8)

② 駅へのアクセス道路の整備

鉄道駅へのアクセスの向上と利用者の安全性向上のため、バイパス道路及び歩道を整備することにより、駅周辺の交通環境を改善する。

《主な事業箇所》

路 線 名	延 長	種 別
(主) 太子御津線（姫路市網干区高田）	1.2km	立体交差（J R 網干駅） 2011(H23)～25(R 7)

③ 歩行者・自転車の快適な通行空間の確保

ア 通学路等の安全対策の推進

通学児童の安全を確保するため、歩道整備等の安全対策を推進する。

《主な事業箇所》

路 線 名	延 長	種 別
(一) 石倉玉田線（姫路市書写）	0.4km	歩道(W=2.5m) 2017(H29)～26(R 8)
(主) 姫路神河線（姫路市夢前町山富）	0.8km	歩道(W=2.5m) 2015(H27)～27(R 9)
(主) 西脇八千代市川線（市川町下瀬加）	0.6km	歩道(W=2.5m) 2023(R 5)～29(R 11)

※ 歩道の幅員(W)は、施設帯等を含む幅員

イ 自転車通行空間整備の推進

自転車レーンや路肩のカラー舗装等による視覚的分離により安全対策を計画的に推進し、安全で快適な自転車通行空間を確保する。

《主な事業箇所》

路 線 名	延 長	種 別
(一) 和久今宿線（飾磨区山崎台～付城）	1.2km	自転車レーン 2018(H30)～29(R 11)
(主) 三木穴栗線（福崎町西治）	1.0km	路肩拡幅 2015(H27)～26(R 8)

④ 地方部の道路整備の推進

地域間交流や生活の基盤となる道路の重点的な整備を進める。

《主な事業箇所》

路 線 名	延 長	種 別
(一) 西田原姫路線（福崎町西田原）	0.2km	拡幅 2023(R 5)～27(R 9)
(主) 穴栗香寺線（姫路市安富町狭戸）	0.2km	バイパス 2017(H29)～26(R 8)

(3) 「(仮称) 道の駅姫路」の整備(飾東町豊国)

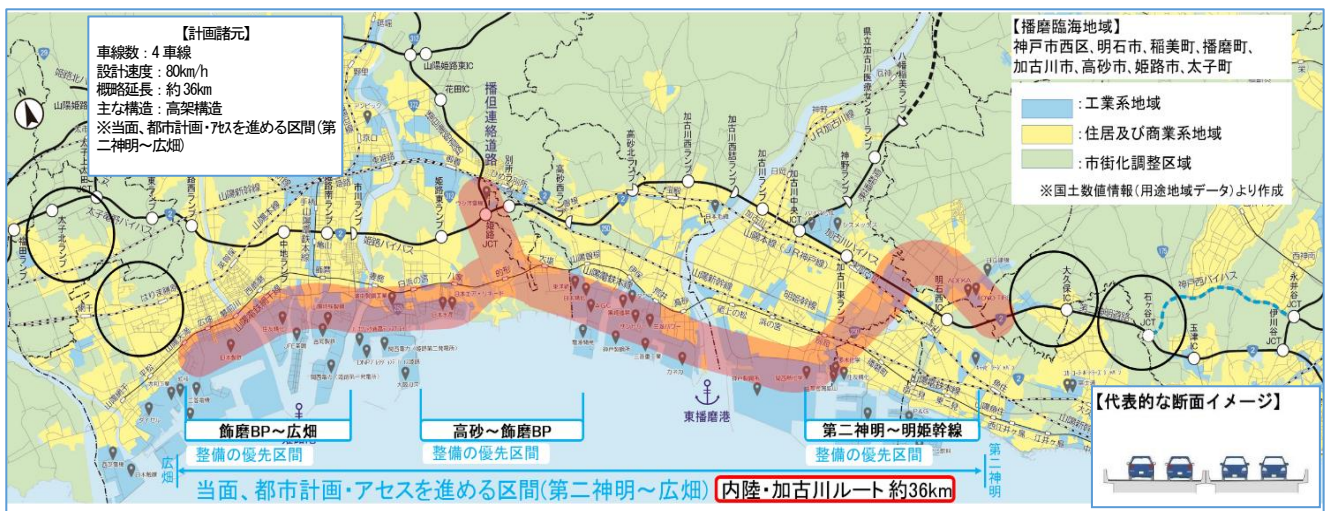
姫路市は、世界遺産姫路城を中心に国内外から多くの観光客を迎えており、その7割が自動車で来訪していることから、車利用者の休憩施設や情報発信機能を有する道の駅の整備が求められている。このような中、周辺に車利用者の休憩施設が無いことから、道路管理者として、姫路市と道の駅を一体的に整備することとしており、令和10年度の完成に向けて、姫路市と連携して事業推進を図る。

(4) 播磨臨海地域道路の整備促進

「第二神明～広畑」の区間について、対応方針として「内陸・加古川ルート(約36km)」が選定され、計画段階評価手続が完了した。令和4年11月28日に、国から都市計画決定権者である県・神戸市へ、今後の都市計画手続の参考となるルート計画案が手交され、この計画案に関する説明会を、令和5年度に姫路市内で計19回、令和6年度に計16回開催した。

県としては、早期事業化に向け沿線市町とともに、都市計画・環境影響評価手続を進めるとともに、早期完成に向け、有料道路事業の導入検討などについても、引き続き国へ要望していく。

【播磨臨海地域道路ルート案】



(5) JR姫新線・播但線鉄道交通活性化推進事業 1,100千円(地域躍動)

県と各沿線市町等が連携し、沿線イベントの開催や観光パンフレット及び啓発資材の作成、駅舎・車内の魅力向上を図ることで、乗車人員増や利便性向上へ向け取組を行う。

Ⅱ 新たな力が生まれ続ける「活力」中播磨

1 ものづくり力の強化と新たな挑戦への支援

産学官の連携による技術交流の促進により、地域のものづくり力の一層の強化を図るとともに、ものづくりを支える人材を確保するため、企業と学生のマッチングを図る機会を充実させる。

(1) 高校生と企業の新ビジネスにつながるアイデアカフェ

1,200千円（地域躍動）

地域経済に貢献できる若手人材の確保・育成を推進するため、中播磨管内企業のうち、ものづくり産業や地場産業、観光関連産業、食品産業など、高校生とコラボレーションした商品開発

等を希望する中小企業の担当者と地元高校生との交流会やワークショップ等を実施する。



【アイデアカフェでのピッチコンテスト】

(2) 【拡充】ものづくりを支える人材確保支援 4,500千円（地域躍動）

中播磨地域を支えるものづくり産業の活性化・安定的な発展を図るため、地元企業への認知度向上や、採用力向上の取組み等を行い、地元中小企業の人材確保を支援する。

① 高等学校の進路指導担当者と企業との交流会の開催

高等学校の進路指導担当者と地元企業の採用担当者が一堂に会し、相互理解を深める場を設定し、地元企業への就職を促進する。

② （拡充）中播磨地域の人材確保に向けた取組の実施

ア 管内企業の人事担当者を対象に、「採用の成功」に向けた採用ブランディング力を高めるためのセミナー等を開催。

イ 地元高校生を対象に管内臨海部のものづくり企業等の魅力を紹介するセミナーを開催。

ウ 中播磨地域の企業に関心のある大学等に出向き、地場産業企業等の魅力を紹介するアウトリーチ説明会を開催。

エ 県内外の学生を対象に、工場見学や企業研究会を開催。



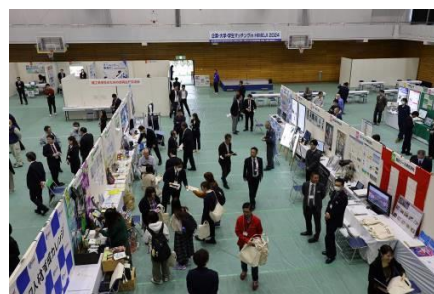
【進路指導担当と企業の交流会】

(3) 産学官連携による「中はりま産業力」強化 1,100千円（地域躍動）

中播磨地域の産学官が連携し、技術交流の促進や雇用機会の創出を支援することにより、地域のものづくり力のより一層の強化を図る。

① 企業・大学・学生マッチング in HIMEJI 2025

地元企業の製品・技術や、大学の研究等の展示を行うことにより、学生に地元企業の製品・技術をPRするとともに、学生に出展企業の製品・技術情報や、企業との意見交換の機会を提供し、地元企業への関心を高めてもらうことを目的に、「企業・大学・学生マッチング in HIMEJI 2025」を開催する。



【企業・大学・学生マッチング in HIMEJI】

(4) カーボンニュートラルポートの形成 (p. 10再掲)

2 持続可能な農林水産業の推進

中播磨地域における集落営農組織の経営サポートやスマート農業技術の導入・普及事業を展開するとともに、農地の面的集積とほ場の大区画化を一体的に進めるほ場整備を推進し、農業水利施設の機能が適正かつ持続的に発揮されるよう点検整備や補修に取り組むほか、防災対策として老朽化したため池等を改修する。

(1) 【拡充】中はりま農業パワーアップ作戦 1,600千円（地域躍動）

中播磨地域では土地利用型農業が盛んであることから、担い手である集落営農組織等の経営安定を図るため、スマート農業技術導入による省力化・効率化を図る。

また、肥料高騰対策や環境負荷低減に向け、「環境創造型農業（減農薬・減化学肥料栽培等）」、「有機農業」の面積拡大を図り、活力ある中播磨農業の展開を目指す。

① スマート農業の推進

省力化や効率化による経営安定に向けて、地域の実情を踏まえたスマート農業機械の導入を促進するため、性能に関する検証やコスト算定、AIを活用した栽培管理システム等の利用体制の研究等を行うほか、アシスト機能付きトラクタなどスマート農業機械の効果を体験できる「実演会」を開催する。



【スマート農業機械実演会】

② （拡充）土づくりの推進

持続的な農業の実現に向け、「環境創造型農業（減農薬・減化学肥料栽培等）」を一層推進するため、これまで実証してきた化学合成肥料の投入量の低減に向けた緑肥作物栽培による土づくり技術を活用し、有機農業（無農薬・無化学肥料栽培）の実証ほを設置するなど、多様な需要に対応した多角的経営（ハイブリッド経営）モデルを育成する。

③ 多様な需要に応える経営モデルの育成

地域で実施される有機農業体験や消費者との交流等の収益性の高い経営モデルを導入し多様な需要に応える農業者を育成するため、消費者や実需者のニーズ把握や生産者と実需者（消費者）とのマッチング（調整）を支援する。

(2) 次世代につなげる播磨の水産業 3,000千円（地域躍動）

地域の主要水産業である二枚貝養殖業等の持続可能な生産体制の確立を図るため、マガキやアサリ等の増養殖生産における新技術の導入を推進するとともに、カキ養殖で発生したカキ殻を活用した漁場の底質改善に取り組み、水産資源の増大を図る。

① 新增養殖技術の支援

漁業者の所得向上を目指し、水産資源回復のための増殖技術の開発、飲食店などでニーズの高いカキ生産が可能となるシングルシード養殖等の新技術を用いた養殖方式の普及促進や、アサリ等の新たな種苗生産や中間育成方法の導入等の取組を支援する。

② カキ殻を活用した持続可能な漁業生産へ向けた検討

水産資源の回復による持続可能な漁業の実現に不可欠な底質改善を目指し、カキ養殖で発生するカキ殻等を海底に散布することにより、ゴカイなどの底生生物の発生を促す実証事業を実施する。

(3) 農業生産基盤の整備

農業の競争力強化に向け、未整備地域のほ場整備を推進するとともに、ほ場整備済の地域では、農作業の効率化のための大区画化・用水路のパイプライン化等を進める。

また、頻発するゲリラ豪雨や南海トラフ等の大規模地震に備え、ため池等農業水利施設の防災・減災対策を推進する。

① ほ場整備【県営】 8地区

事業名	地区名	所在地
経営体育成基盤整備事業	あまじ区	神崎郡市川町甘地
	犬飼田野	姫路市香寺町犬飼、田野
	高岡福田	神崎郡福崎町高岡、福田
	須加院	姫路市香寺町須加院
	屋形	神崎郡市川町屋形
	宮置	姫路市夢前町宮置
	太市西部	姫路市西脇・揖保郡太子町広坂
	山崎	神崎郡福崎町山崎

② ため池の改修【県営】 7地区

事業名	地区名	所在地
ため池等整備事業	竹太郎上池	姫路市林田町下伊勢
	相合池	姫路市飾東町佐良和
	別所横池	姫路市別所町北宿
	大谷池	姫路市飾東町塩崎
	古法華池	加西市東剣坂町
	室谷上池・下池	神崎郡市川町東川辺
	直谷池	神崎郡福崎町山崎

③ 井堰等の改修【県営】 5地区

事業名	地区名	所在地
農業用河川工作物応急対策事業	書写	姫路市書写
	権現	神崎郡福崎町八千種
	阿成	姫路市飾磨区阿成
基幹水利施設ストックマネジメント事業	甲山頭首工	姫路市豊富町
	屋形頭首工導水路	神崎郡市川町屋形

(4) 水産資源を守り育てる増殖場の整備

砂泥底が広がり漁場条件に恵まれていない播磨灘中・西部海域において、地元産石材を用いた大規模な人工増殖場を造成し、メバルやカサゴなど有用水産生物の発生及び生育に適した環境を整備することで、水産資源の維持・増大と漁業生産の安定化を図る。

事業名	地区名	造成海域	実施内容
増殖場造成	播磨灘中西部 加島南地区	男鹿島南加島地先海域	石材礁1基造成

(5) 【新規】中播磨地域「農産物をまもり・ひきつぐプロジェクト」

2,800千円（地域躍動）

中播磨では、地域の気候風土を背景に、地域を象徴する農産物として網干メロン、ゆず、葉物野菜などの生産の歴史を刻んできた。

地域農産物のブランド力を強化し、在住する消費者だけでなく観光客にも地域農産物の魅力を伝え、消費の喚起や観光促進など、農業生産振興だけでなく地域の活性化につながる取組を支援する。

① 実需者と生産者の連携活動支援

実需者（飲食店や観光業者等）と生産者が専門家の知見などを活用し、中播磨地域農産物の価値を消費者へ訴求するために実施する活動を支援する。

② 地域農産物生産体制の強化

デジタル技術の活用等による生産・加工体制・生産技術等の改善のほか、担い手づくりを支援する。

③ 中播磨地域農産物のPR

デジタルブック、パンフレット等のPR資材を作成する。



【網干メロン】

3 公民連携で取り組む地域の活性化

行政課題の複雑化・高度化が進み、行政のみでの課題解決を図ることは困難となり、公民連携の重要性が高まっている中、中播磨地域の団体・企業等と連携し、そのノウハウやネットワーク等を活かしながら、公民連携で中播磨地域の活性化、課題解決に取り組む。

(1) 地域に根ざしたユニバーサル活動応援団体との公民連携モデル事業

1,000 千円（地域躍動）

管内就労継続支援事業所の事業所運営等の底上げを図るため、地域に根ざしたユニバーサル活動を応援する企業・団体等と連携し、就労に不安を持つ若者を活用した事業を実施する。

① 事業所カフェ関係事業の実施

ア 事業所カフェメニュー向上に係る講演会

管内就労継続支援事業所のうちカフェを運営する事業所に対し、地元食材や、食材料理法(加工法)、メニュー構成などに知験をもつ講師による講演会を開催する。

イ 講師等による事業所カフェ訪問

上記講師等が、実際に事業所に足を運び、試食・提案を実施する。

② 姫路食博での試験販売

上記①事業所のうち、一定水準を満たしている事業所には、姫路食博において、試験販売の場を提供し、販路拡大を図る。

③ 就労に不安を持つ若者のスタッフ活用

上記①および②の準備・実施にあたっては、スタッフの一部を、地域に根ざしたユニバーサル活動応援企業・団体等と連携し、就労に不安を持つ若者が担うことで、同若者に体験機会を提供する。

(2) 新技術等の実用化に向けた中はりま公民連携事業 1,500 千円（地域躍動）

社会課題の解決に向け、「播磨圏域ものづくりプラットフォーム」と協定を締結し、自動運転、ドローン、燃料電池、循環経済（サーキュラーエコノミー）など新技術等の実証実験や調査等を公民連携で実施する。

① 社会課題解決のための実証実験、調査

播磨圏域ものづくりプラットフォームと連携し、管内企業等の新技術を活用した物流や観光、資源循環などの社会課題解決に関する実証実験を実施。

② 実証実験、調査結果の発表

上記①の実証実験の成果の共有と、新たな課題抽出などを目的とした成果発表会を開催する。

Ⅲ ステキなご近所さんで支え合う「つながり」中播磨

1 人と人がつながり支え合う地域づくりの推進

地域の課題解決に向けた地域団体等の活動支援による地域住民同士のつながりの創出・強化や、誰もが担い手として活躍できる地域を目指す取組を推進する。

(1) 中播磨地域づくり活動応援事業 9,200千円（地域躍動）

地域団体が他団体と協働して実施する地域課題解決につながる取組や団体自らの活動活性化のための取組（県民提案型協働事業）を支援することで、地域の元気づくりを図る。

（一般枠）

地域の人が地域外の人と交流を図るための取組、地域の魅力や文化を次代に伝える取組、子育てに関する交流など子育て家庭を応援する取組、省エネや緑化活動など環境保全への取組等を支援する。

（特別枠）

① ウェルビーイング推進事業

誰一人取り残さない地域社会の実現に向け、多様な主体の地域参加を促進する取組を支援する。

② 「銀の馬車道」魅力UP事業

日本遺産に認定された「銀の馬車道」を題材とした取組で地域の活性化につながる取組を支援する。

③ SDGs推進事業

地場産業の継承や交流人口の増加、地域の魅力向上など、地域で展開するSDGsの取組を支援する。

(2) 【新規】農福マッチングプロジェクト 4,200千円（地域躍動）

人手不足や後継者不足が課題となっている農業者と求職中の障害者や就労に不安を持つ若者のマッチングを図ることで、双方の課題解決に取り組む「農業⇄福祉マッチングシステム（仮称）」を構築する。これにより農業者と福祉事業所等をワンストップでタイムリーにマッチングでき、地域の農福連携事業の推進を加速することをめざす。

① 農業⇄福祉の協力体制づくり【中播磨農福連携協議会の設立】

農業者、福祉事業所、行政等を構成員とした協議会を設立し、定期的に意見交換を行うほか、講演会等により農業・福祉双方への理解を深める機会を設ける。

また、地元野菜や農産物を使った加工品等を販売するマルシェを開催して、普及啓発を図る。

② 農業者の担い手確保、障害者等の雇用の創出

「農業⇄福祉マッチングシステム（仮称）」をワンストップ型のアプリで運営することで、農業者のタイムリーな人材確保と障害者等の雇用機会の創出につながる。

③ 農業生産活動の拡大

農林水産省が進める農業と福祉両方の知見を有する専門家を育成する「農福連携技術支援者育成研修」を終了した農福連携技術支援者を農業者、福祉事業所等へ派遣し、事前の体験やマッチング後のフォローを実施する。

(3) 中播磨フードドライブの実施

食品ロスの削減を図るため、家庭で余っている食品等をごみにせず、必要とする人や福祉団体等にフードバンク団体を通じて寄附するフードドライブ事業を実施する。

(4) 地域づくり研修会の開催 80千円（地域躍動）

地域のリーダーであり、地域づくりの中核的な役割を担っている自治会長から、県事業への協力を得るため、自治会長が県事業の必要性や遂行にあたって生じる問題点について認識を深める機会として、研修会を開催する。

(5) 地域に根ざしたユニバーサル活動応援団体との公民連携モデル事業(p. 19再掲)

(6) 管内プロスポーツクラブ等との連携・協力の推進

県内のこどもたちがスポーツに触れる機会の創出や県施策への理解促進を図るため、管内プロスポーツクラブとの包括連携協定の締結を推進する。

2 青少年等の健全育成活動の推進

青少年等の健全育成のため、地域、行政等が連携した県民スクラム運動の展開を図るほか、スポーツや自然体験等、多様な体験活動の場を提供する。

(1) 親子、世代間ふれあい事業の実施

① 茶摘み体験

自然や農業について考える機会として、神河町で300年の歴史ある「仙霊茶」の茶園で、茶摘みやお茶にまつわる歴史・製法等について学ぶ体験会を開催する。

② 水生生物観察会

自然環境を学ぶとともに、子どもたちの健やかな成長を図るため、夢前川の水生生物の観察会を開催する。

③ 岩田健三郎 版画教室

子どもたちの創造性、表現力を育むため、姫路を代表する版画家 岩田健三郎氏を講師に、年賀状作成の版画教室を開催する。

(2) スポーツ活動を通じたこどもの健全育成の推進

スポーツを通じて子どもたちの健全育成を図るため、地元のプロチームであるヴィクトリーナ姫路の選手によるバレーボール教室やA Sハリマアルビオンの選手によるサッカー教室を開催する。



【ヴィクトリーナ姫路 バレーボール教室】

(3) 青少年健全育成・非行防止啓発事業

青少年の健全育成を目的とするイベントやセミナー等での啓発資材等の配布により、青少年を守り育てる県民スクラム運動の積極的な展開を図る。

3 健康で安心できる暮らしづくりの推進

誰もが安心して医療を受けられ、住み慣れた地域で健康に暮らすことができるよう、子どもから高齢者まで地域ぐるみで支え合う環境づくりを推進する。

(1) 小児救急医療・適切な受診行動の促進 320千円（地域躍動）

中播磨圏域の一次救急を担う姫路市休日・夜間急病センターの利用者の約47%を小児科が占めている中、夜間休日の小児救急を担う小児科医師数の減少と高齢化、さらには令和6年4月から「医師の働き方改革」による時間外労働の制限がされることにより、診療体制の維持が課題となっている。

小児救急医療体制の維持を図るため、小児救急医療検討会を開催するほか、病状に応じた適切な受診行動を促すとともに、コンビニ受診抑制のための啓発を実施する。

(2) 地域包括ケアシステムの構築支援

神崎郡在宅医療・介護連携支援センターと連携して、3町が主体的に取組を進められるよう、圏域の地域包括ケア推進会議の開催や、市町や医療関係団体等との連携調整等を行うことにより、郡内・圏域全体を見渡した広域連携システムの構築を支援する。

(3) 地域を支える看護人材の確保

地域医療を支える看護人材の確保を図るため、兵庫県看護協会、民間病院協会等と連携して、中・西播磨管内の病院がそれぞれの魅力を伝えるとともに、ハローワーク等の協力のもと潜在看護師のための相談等を行う「看護職合同就職説明会」の開催を支援する。

IV 次代に受け継ぐ「ふるさと」中播磨

1 安全安心な暮らしの推進

治水・地震・高潮・土砂災害対策等による災害に強い社会基盤整備や、地域防災力の向上を推進するとともに、日常に潜む犯罪・交通事故・消費者被害等への対策を講じることで、安全安心な暮らしの実現を図る。

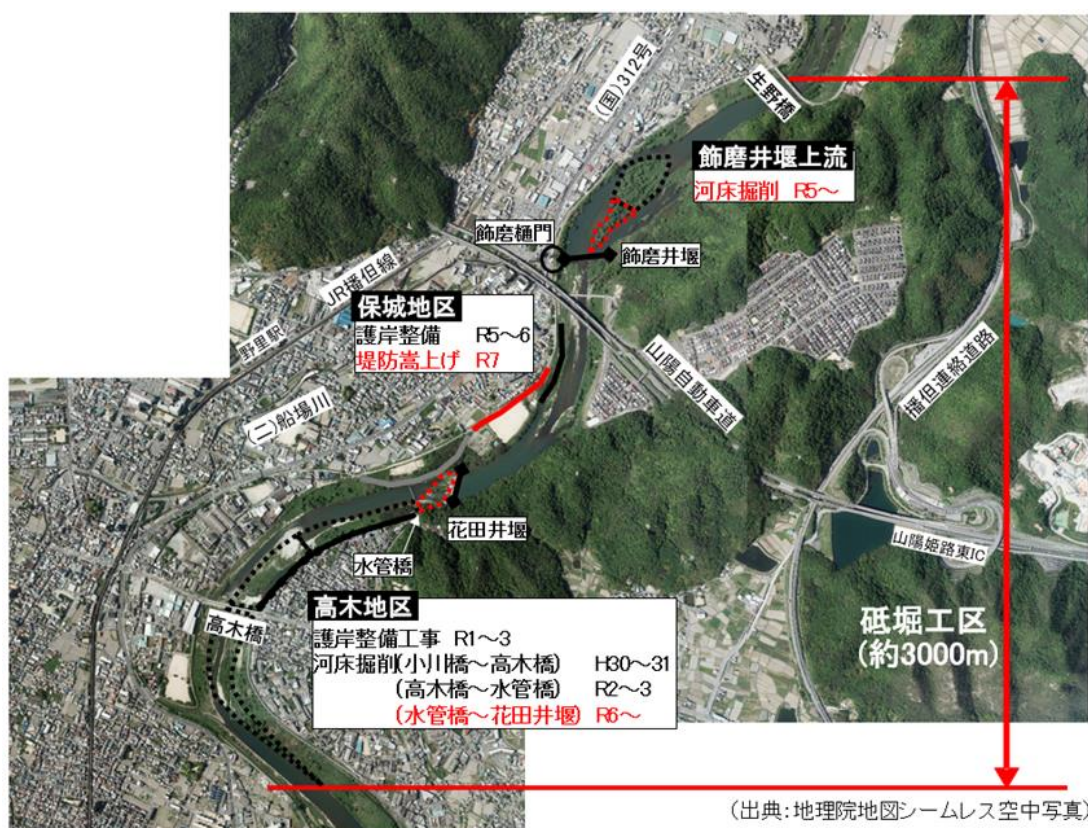
(1) 災害に強い社会基盤整備の推進

自然災害に対する安全・安心を確保するため、治水対策、地震対策、高潮対策及び土砂災害対策を進める。

① 治水対策の推進

ア 市川の河川改修

砥堀工区の河道改修計画に基づき、平成30年3月から河床掘削工事に着手。令和7年度は、堤防嵩上げ及び河床掘削を進める予定。



イ 八家川の洪水調節池整備

流域の浸水被害を早期かつ広範囲に軽減するため、高潮対策（八家川排水機場(H29.5完)、防潮水門(H26.9完) 及び高潮堤防嵩上げ(H28完)）に加え、中上流部（姫路バイパス下流）において洪水調節池の整備を進める。

令和7年度は、調節池の地盤改良工事等に着手する予定。

計画平面図



ウ 総合治水の推進

「中播磨(市川流域圏)地域総合治水推進計画 (H26.3策定、R7.3改定予定)」に基づき、「河川下水道対策」に加え、河川等への雨水流出を抑制する「流域対策」、浸水時の被害を軽減する「減災対策」を組み合わせた「総合治水」を県・市町・県民の連携のもと推進する。

② 地震対策の推進

「ひょうご道路防災推進10箇年計画」〔2024(R6)～33(R15)〕に基づき、緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強等を進める。

・橋梁の耐震補強：(主)三木穴栗線 福崎大橋 (国)250号 思案橋、新網干大橋等

③ 高潮対策の推進

大阪湾沿岸で既往最大潮位を記録した平成30年の台風第21号の教訓を踏まえ、全県下の県管理海岸・河川を対象に策定した「兵庫県高潮対策10カ年計画」〔2019(R元)～28(R10)〕に基づき、防潮堤の嵩上げなどを推進する。

・主な整備箇所 姫路港大津吉美地区、浜田地区

④ 土砂災害対策の推進

国の「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」〔2021(R3)～25(R7)〕にあわせて策定した、「第4次 山地防災・土砂災害対策計画」〔2021(R3)～25(R7)〕に基づき、土砂災害対策を推進することにより、県土の強靱化を加速化し、県民の生命と財産を守る。

ア 土砂災害対策の推進

土石流対策及び急傾斜地崩壊対策を実施する。

土石流対策 25箇所	【事業継続箇所】 古瀬畑川、東尾友東川、東尾友西川、足尾谷川、吹上谷川、クズリ谷川下谷、湊谷川、菅生川、イガン谷川、川上左谷川、奥猪篠川第六右支溪、大山上谷川、春日神社谷川、午房谷川、奥猪篠川第七右支溪、谷山川北谷川、西蒲田川、緑兵右谷川、当田川左支溪、平石川、居屋谷川、中島川、五社北谷川、河内川、古屋敷山川1-2 【R 7 新規事業箇所】 なし
急傾斜地 崩壊対策 17箇所	【事業継続箇所】 畑の原、みどり丘（1）、馬谷Ⅱ、白浜（3）、大河（1）、大河（2）、西蒲田（2）（1）、青山（1）、柏尾、柏尾（1）、西田中 【R 7 新規事業箇所】 馬谷（1）Ⅰ、多田Ⅱ、本村（2）、重行（2）、柏尾（3）、柏尾（1）Ⅱ

イ 流木・土砂流出防止対策

風倒木跡地などの荒廃林地からの流木・土砂対策を実施する。

- ・治山ダム：管内4箇所では整備を推進（神河町（2）、市川町（2））

ウ 災害に強い森づくり（県民緑税事業）の推進

令和3年度から5年間延長された県民緑税（第4期対策）を活用し、「緊急防災林整備」、「里山防災林整備」、「針葉樹林と広葉樹林の混交整備」、「野生動物共生林整備」、「住民参画型森林整備」などに取り組むことにより、森林の防災面での機能強化を早期・確実に進める。

(2) 老朽化対策の推進

「ひょうごインフラ・メンテナンス10箇年計画」〔2024(R6)～33(R15)〕に基づき、計画的・効率的に社会基盤施設の老朽化対策を推進する。

- ・道 路：橋梁の耐震補強工事に併せて実施
- ・河 川：市川潮止堰 2010(H22)～28(R10)
- ・海 岸：大江島排水機場 2020(R 2)～28(R10)
- ・港 湾：姫路港須加地区物揚場（L=163m） 2018(H30)～25(R 7)
- ・下水道：機械・電気設備（揖保川浄化センター、兵庫西流域下水汚泥広域処理場）

(3) 防災リーダーフォローアップ講座の開催 190千円（地域躍動）

兵庫県では阪神・淡路大震災30年を機に、次世代に「繋ぐ」記念事業を展開する。

この震災では、地域のつながりが復興に大きな役割を果たしたが、この共助の取組を支える自主防災組織の活動を活性化させるため、防災リーダーフォローアップ講座を開催する。

(4) 「ストップ・ザ・交通事故！県民運動」啓発活動強化事業 180千円（地域躍動）

交通安全協会等と連携し街頭啓発を行うなど、地域で高齢者を守る意識の醸成や、高齢者の交通安全意識の高揚を図ることにより、交通死亡事故の減少をめざす。

また、自転車を利用するすべての人に努力義務化されたヘルメット着用等、交通ルールの遵守やマナーに関する広報啓発を、関係団体等と協働し実施する。

(5) 次世代（若者）の消費生活力向上支援事業

消費生活トラブルの未然防止・拡大防止を図るとともに、消費者が消費生活に関する知識を持ち、適切な行動がとれる実践的な能力を身につけるための消費者学習を推進する。

2 シビックプライドの醸成

地域の営みや地域資源を磨き上げ、その魅力を発信するとともに、地域文化や郷土史等を次代に伝える事業を実施・支援することで、子どもや若者が地域に対する愛情・誇りを感じ、住み続けたいと感じられる地域づくりを推進する。

(1) 小学生への社会基盤整備PR事業

社会基盤施設への興味や整備の理解を促進するため、小学生を対象にイベントを実施し、将来の土木技術者を目指す人材の発掘と育成を目指すほか、社会基盤整備の魅力を伝えるとともに公共事業への理解促進、防災への意識付けを行う。

- ① 夏休みを利用して「川・道・港・まち」をテーマとした絵画を募集し、入賞作品を披露するほか、作品を掲載した下敷き等を作成し啓発を行う。
- ② 出前講座などを活用し管内の社会基盤施設の役割や必要性を伝えるとともに、近年頻発する災害に備えて、平常時からの訓練や、ハザードマップを確認したりすることの重要性を伝えるなど、防災に対する意識を高める。

(2) 中播磨地域ビジョンの推進 300千円（地域躍動）

2050年を展望する中播磨地域の目指す姿を描いた「中播磨地域ビジョン2050」の実現に向け、県民・団体・企業など多様な主体の参画による地域ビジョンプロジェクトが展開されるよう、フォーラムを開催するなど中播磨地域ビジョンの普及啓発を行う。

(3) 【拡充】未来へつなぐ中はりまの農業水利の歴史事業 2,000千円（地域躍動）

中播磨の農業水利施設（水路〔疏水〕・ため池・井堰など）は、先人達の努力や苦勞によって建設され、地域の人々に受け継がれながら現在も農業生産を支える大きな役割を果たしており、歴史・文化的・技術的価値の高いものが数多く存在する。

このような貴重な施設を後世へ継承するため、農業生産のみならず、洪水抑制等の防災機能や多様な生物相の形成など多面的な役割を再認識するための啓発活動を支援することにより、子どもたちに先人たちの工夫や努力が息づくふるさとの良さへの理解を促進する。

また、西光寺野疏水路が令和6年度世界かんがい施設遺産に登録されたことを受けて、本歴史事業の核として啓発活動を行うとともに施設の整備等を行う。

(4) 伝統文化を通じた青少年の文化力アップ 2,200千円（地域躍動）

姫路・中播磨地域の青少年等を対象に日本の伝統文化の継承・普及・発展に寄与する事業を展開し、伝統文化を通して地域の若者のふるさと意識の醸成を図る。

① 伝統文化研修事業の実施

ア 「青少年伝統文化セミナー」の開催など青少年の文化力アップ

イ 「留学支援講座」「和のゲストハウス事業」の実施など国際交流と異文化理解

ウ 「伝統文化リーダー・スタッフ養成」事業など文化発信と人材育成

② 県市連携事業の実施

姫路城周辺施設での日本舞踊等定期イベントの実施など

3 次代へつなぐ豊かな自然の維持・保全とゼロカーボン社会の実現

生物多様性の確保や森林・農地の持つ多面的機能の維持・保全など人と自然の共生を図るとともにゼロカーボン社会の実現に向けた取組を推進することで、中播磨の豊かな自然環境を次の世代へ受け継ぐ。また、次代を担う子どもたちに環境の大切さを伝える環境学習を推進する。

(1) 県市連携による家島の野生動物被害対策 300千円（地域躍動）

近年住民生活環境への出没が増加している野生イノシシによる被害防止対策のため、住民参画による実態調査とその結果に基づく効果的な捕獲手法の指導など、住民が主体的にイノシシ被害防止対策に取り組める環境の整備を姫路市と連携して推進する。

(2) 鳥獣被害対策の担い手の育成

有害鳥獣の捕獲を担う狩猟者の高齢化が進んでいることから、将来にわたり被害対策を担う人材の確保・育成に取り組む。また、狩猟マナーの向上を目指し、正しい知識と技術を持った狩猟者の育成を進めるとともに、高校生など若い世代を対象として「狩猟」を知り、理解を深めてもらう場を提供する。

① ワナ猟経験が少ない、若しくは未経験者のうち、本格的にワナ猟による捕獲を続けていく意欲のある方に対し、シカやイノシシを中心とする捕獲技術等の指導を実施する。

② 鳥獣被害対策の担い手の確保・育成を図るため、狩猟免許取得後の狩猟未経験者を対象に狩猟体験会等を開催する。

③ 地元高校生等を対象にした狩猟講座（座学・捕獲模擬体験等）の開催を支援する。

(3) 野生動物の被害対策の推進

野生動物による農林業被害が深刻化・広域化しているため、捕獲による個体数管理、防護柵設置、さらには人と野生動物の棲み分けゾーンの設置などの取組を進める。

① シカ、イノシシ対策

ア 防護柵の設置の推進【設置計画：15,000m】

イ 県の個体数管理計画に基づく捕獲の推進【捕獲目標：4,490頭】

ウ シカ肉処理加工施設等でのペットフード等への加工による有効活用

エ 県市連携による家島の野生動物被害対策（p.27再掲）

② サル対策

- ア 県のニホンザル管理計画に基づく加害個体の捕獲強化
- イ 群れ行動を監視し、被害の防止につなげるサル監視員の設置

③ その他

- ア 特定外来生物対策（アライグマ、ヌートリア）
市町防除実施計画に基づく、箱わなの貸し出し等による捕獲の推進
- イ 野生動物共生林の整備
「人と野生動物の棲み分けゾーン」を設置する野生動物共生林の整備の推進

【基本計画調査予定（2箇所）及び整備造成（2箇所）：4箇所】

(4) 持続可能な森林経営に向けた森づくり

成熟した人工林資源の有効活用による持続可能な森林経営の実現に向け、林内路網の整備など林業生産基盤の整備を進めるとともに、適期の間伐など適切な森林の整備を推進する。

(5) 環境学習の推進 260千円（地域躍動）

管内の小学生等が水生生物や河川環境等を学ぶ機会として、「青少年向けの体験型環境学習事業」を開催することで、環境に対する関心を高め、環境を大切にする心を育む。

(6) カーボンニュートラルポートの形成（p.10再掲）

(7) 中播磨フードドライブの実施（p.21再掲）